令和８年度
通信制課程に係る情報公開

新潟青陵高等学校　通信制課程

新潟青陵高等学校通信制課程では、高等学校通信教育規程第 14 条に規定する教育活動等の状況について、以下のとおり情報を公開する。

1　学科の組織及び収容定員に関すること

実施校　　新潟青陵高等学校
学　科　　通信制課程普通科
定　員　　600
住　所　　新潟市中央区水道町 1-5932

2　通信教育を行う区域に関すること

国内 47 都道府県及び海外

3　通信教育連携教育施設ごとの名称及び位置に関すること

面接指導等実施施設

施設名	住所	定員
実践女子学園中学校高等学校	東京都渋谷区東 1-1-11	150
関東学院大学横浜・関内キャンパス	横浜市中区万代町 1-1-1	150

学習等支援施設

施設名	住所	定員
新潟青陵学園　新潟青陵大学	新潟市中央区水道町 1-5939	30

4　教員及び職員の数その他教職員組織に関すること（2026.5.1 現在）

校長　　1
副校長　　1
教諭　　5
養護教諭　　1
常勤講師　　2
非常勤講師　5
事務職員　　1

学校医　　1
学校歯科医　1
学校薬剤師　1
スクールカウンセラー　2

5　入学、退学、転学、休学及び卒業に関すること（2026.5.1 現在）

在籍生徒数　1 年生　39 人
　　2 年生　10 人
　　3 年生　10 人
　　計　　59 人

6　通信教育実施計画に関すること

1. 教育課程表（別紙 1）
2. シラバス（準備中）
3. 評価に関する規定（別紙 2）

7　校地、校舎の施設及び設備その他の生徒の教育環境に関すること

全日制課程校舎を活用し、教室、化学室、食物実習室、美術室、音楽室、保健室、図書室、体育館、自習室は全日制と共用、職員室は通信制課程専用とする。

8　授業料、入学金その他の費用徴収に関すること

受験料	10,000 円
入学金	20,000 円
授業料	10,000 円（1 単位あたり）
施設設備費	100,000 円
システム利用料	20,000 円
教材費	約 17,000 円（履修単位により異なる）

希望制の行事等は別途参加費を徴収する。

9　生徒の学習活動、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

【生徒の学習活動】

1. ICT を活用した柔軟で効率的な学習システム

・学習管理システム（LMS）の活用

インターネット環境があれば、場所や時間を選ばずに学習動画の視聴やレポート作成が可能。動画と確認問題が連動しており、苦手な箇所は繰り返し視聴するなど、生徒一人ひとりの理解度に合わせた効率的な学習ができる。

・オンデマンド授業によるレポート対策

本校のレポート課題に対応した授業動画をいつでもどこでも学習できる。

・個別の学習計画と進捗管理

教員と相談しながら、自分専用の学習計画を立て、進捗状況は LMS 上で確認し、計画的な学習を支援。

2. 学習の進め方とスクーリング

・基本的な学習の流れ

自宅やサポートキャンパスで学習動画視聴とレポート（添削課題）に取り組み、オンラインで提出する。課題でわからないことがあれば、オンラインまたはサポートキャンパスで直接質問する。

・スクーリング（面接指導）

年間 10 日程度の対面授業に出席する。会場は「新潟本校」「渋谷」「横浜」の 3 キャンパスから選択可能。

※新潟本校は「月 1 コース」または「集中コース」、渋谷・横浜は「集中コース」のみ。

・単位認定

レポート提出とスクーリング出席を経て、単位認定試験に合格することで単位が認定される。

・特別活動

オンラインホームルームや行事、ボランティアなどの特別活動の出席が必要。

3. 学びの場と特色ある教育

・毎日通える「サポートキャンパス」

隣接する新潟青陵大学内の「サポートキャンパス」は、平日 10:00～16:00 の間、予約不要・追加料金なしで利用可能。自習や学習サポートを受けることができる。

・オンライン学習相談

オンライン会議システムを使用し、画面共有で課題を提示しながらの個別指導が可能。

・特色あるカリキュラム

ポータブルスキル： 社会課題解決や探究活動を通じ、社会で役立つスキルを育成。

大学連携講座： 連携する大学・短大の講座を受講でき、修得単位を高校の卒業単位に含むことができる。

地域と連携した活動：探究活動やボランティア、就業体験などを通して、社会課題解決力

を磨く。

全日制への転籍： 一定の条件を満たすことで、全日制課程への転籍も可能。

4. 特別活動（学校行事）

・多彩な行事

地域発見ウォーク（春)、スキー授業（冬）などを実施予定。

・ホームルーム活動

月 1 回のオンライン HR では、進学や就職に関する話のほか、生徒間の交流やレクリエーションを行う。これらは卒業に必要な特別活動の時間として認定される。

【進路選択】

・全日制での指導実績を活かした進学・就職サポート

進学・就職を問わず、対面指導とオンライン指導の双方を活用し、全日制で蓄積してきた指導実績を活かし、一人ひとりの目標に合わせたサポートを行う。

・入試対策

進路相談に加え、総合型選抜や学校推薦型選抜に向けた志望理由書、小論文や面接などの個別指導を実施。

・大学等進学に向けた各教科の学習サポート

外部教材等を使用した教科学習についても、教員がサポートする。

・就職支援

就職希望者に対しては、企業訪問前の準備、履歴書の作成指導、面接指導などを実施し、個別にサポートする。

【心身の健康等に係る支援】

・多角的な相談体制

学習面だけでなく、生活習慣、友人関係、進路の悩みなど、内容に応じて経験豊富なスタッフが対応。対面だけでなく、オンラインでも相談も可能。

・専門家によるメンタルヘルスケア

① カウンセラー（臨床心理士）への相談

生徒本人、保護者も専門のカウンセラーへ相談することができる（要予約)。

② 24 時間オンライン相談窓口

夜間や休日など、いつでも不安な気持ちを吐き出せる外部相談窓口を設置。

別表１　教育課程表

通信制課程 教育課程表　（令和８年度入学生）

教科	科目名 ※は学校設定科目	標準単位	第1学年		第2学年		第3学年		合計
			共通	選択	共通	選択	共通	選択	
国語	現代の国語	2	2*						12～16
	言語文化	2	2*						
	論理国語	4			4				
	文学国語	4						＃4	
	国語表現	4					4		
地理歴史	地理総合	2	2*						4～8
	歴史総合	2			2*				
	地理探究	3						＃4	
	日本史探究	3						＃4	
公民	公共	2			2*				2～4
	政治・経済	2						＃2	
数学	数学Ⅰ	3	3*						5～11
	数学Ⅱ	4						＃4	
	数学A	2			2				
	数学B	2						＃2	
	※数学活用	2						＃2	
理科	科学と人間生活	2	2*						4
	物理基礎	2				△2*			
	化学基礎	2				△2*			
	生物基礎	2				△2*			
保健体育	体育	7～8	3*		2*		2*		9
	保健	2	1*		1*				
芸術	音楽Ⅰ	2		○2*					2
	美術Ⅰ	2		○2*					
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3*						9～11
	英語コミュニケーションⅡ	4			4				
	論理・表現Ⅰ	2					2		
	※実用英語	2						＃2	
家庭	家庭基礎	2			2*				2～4
	消費生活	2～4						＃2	
情報	情報Ⅰ	2	2*						2
ポータブルスキル	※ポータブルスキルⅠ	2	2						6
	※ポータブルスキルⅡ	2			2				
	※ポータブルスキルⅢ	2					2		
校外学修活動	※大学等における学修	―							0～24
	※ボランティア活動	―							
	※就業体験	―							
共通科目単位数計			22		21		10		53
選択科目単位数				2		2		12	16
教科計			24		23		22		69
総合的な探究の時間		3～6	1*		2*		2*		5
単位数合計			25		25		24		74

（注）・＊：必履修科目の単位数を表す。ただし，１年芸術の○，２年理科の△はそれぞれ１科目ずつ履修する。
・１年○：「音楽Ⅰ」または「美術Ⅰ」より１科目を選択して履修。
・２年△：「物理基礎」または「化学基礎」または「生物基礎」より1科目を選択して履修。
・３年＃：合計12単位選択して履修。
（ただし、文学国語と数学Ⅱからいずれか１つまで、地理探究と日本史探究はいずれか１つまで、
政治・経済と数学Bと数学活用はいずれか１つまで選択可能）
・「校外学修活動」の科目ごとの修得単位上限は，「大学等における学修」20単位，
「ボランティア活動」２単位，「就業体験」２単位とする。

別紙２

令和８年４月１日
新潟青陵高等学校

成績評価に関する規定
（単位の履修・修得、出席、卒業について）

１　科目の履修について

生徒は、別に示す教育課程表において、学習指導要領に定められた「すべての生徒に履修させる教科・科目」を含む科目を在籍期間中に履修する。

各科目等について､以下の２項目をすべて満たした場合､履修の成立を認める。

・全てのレポートが合格となっていること。

・面接指導の規定時間数を出席していること。

（視聴報告書提出での面接指導の代替を含む）

２　単位の修得について

生徒は、履修が成立した科目について、単位認定試験を受験する。

各科目の定める目標に準拠した観点別評価を行い､「知識および技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点について､それぞれＡ、Ｂ、Ｃの３段階で評価を行う。３観点全ての評価がＣの場合を除き、単位の修得を認める。

３　面接指導（スクーリング）の出席について

面接指導（スクーリング）は１単位時間を50分とし、１単位時間の出席をもって、面接指導の規定時間数における１回の出席とする。また、指定された多様なメディアを利用して行う学習と、その視聴報告書の内容が充分であると認められた場合には、報告書の提出１回につき、面接指導（スクーリング）の１回の出席と認める。

４　年次について

通信制課程では､指導上の便益を考慮し､卒業までの目安を明確にするために､前年度末での修得単位数をもとに、原則として次のように年次を定める。

年次	修得単位数（前年度末時点）
１	0～23
２	24～48
３（卒業年次）	49～

５　卒業について

次の条件をすべて満たしたとき、卒業を認定する。

・高等学校在学期間が３年以上であること。
・学習指導要領における必履修科目の単位をすべて履修していること。
・修得単位数が74単位以上であること。ただし、転編入生にあっては、総合的な探究の時間、ポータブルスキルのそれぞれを２単位以上含んだ６単位以上を本校通信制で修得していること。
・特別活動の出席時数が30時間以上であること。

６　規定の変更について

この規定を変更する際は、事前に生徒、保護者に周知する。